

ADファシリテーター認定コース受講修了者のみなさま

いつもお世話になっております。

2年越しのコロナ禍が一段落着き、お忙しい年末の日々をお迎えのこととお察し申し上げます。

さて、去る10月24日には受講生3名による要望に応じて、オンラインで説明会 & 対話の会を開催させていただきました。DPIとしては、皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、ADファシリテーターの認定を希望される方を認定に導くための対策を重ね重ね検討してきました。

すでに皆様にご報告しましたように、ここ1年間にわたり数々のオンラインによる試験的なADミーティング、セミナー、ダイアログ・ミーティングを通して、多くの貴重な知見を取得してきました。その成果を元に、これまでの対面(リアル)による実習に加えて、オンラインによるAD実習とコーディネーター実習を通してAD認定を取得する可能性を提供できるようになりました。

認定までの流れについては、添付資料を参照して頂ければ幸いです。

- 添付資料:AD&コーディネーター実習ガイドライン(リアル・オンライン共通)

なお、オンラインによる実習の導入にあたり、規則内容・名称などに若干の変更があります。合わせて、下記の「重要通知」をご確認ください。

最後に、オンラインによるADは、ADが開発されたフィンランにおいても、コロナ禍の影響の元に始まった新しい試みでもあり、AD&コーディネーター実習は、状況や文脈などの変化に応じて調整、変更が要されることが考えられます。それに伴い実習ガイドラインも、補記・改善が必要となってくるかと思えます。ぜひ皆様から、積極的なご意見やご提案を頂きながら、共によりよい実習ガイドラインを作成していくことに努めてまいります。

2021年12月14日

NPO法人ダイアログ実習研究所(DPI)

運営委員会

AD実習／コーディネーター実習に関するお問い合わせ:

dpi.realdialogical@gmail.com

重要通知

(1)表記の変更:

- ・ SV、先達 → コーディネーター

説明:これまでAD実習者をサポートしたりコーディネートする人を、DPIでは「先達」or「SV」or「コーディネーター」という呼び方をしていましたが、今後はフィンランドの呼び方に合わせて、コーディネーターに統一します。

- ・ SV講師、DPI講師 → **DPIサポート**

説明:AD実習者とコーディネーター(旧SV)の実習者のサポートとして、DPIから講師スタッフを派遣していましたが、今後は認定ファシリテーターないしはDPIスタッフがDPIサポートを担当し、実習全体のサポートをします。サポート内容についてはAD・コーディネーター実習ガイドラインをご参照ください。

(2)オンライン実習の可能性:

コロナ禍のためリアル実習ができなくなったため、オンラインによる実習がテクニカルと安全性と人材的な面で実施可能かどうか、検討・評価を数多く重ねてきました。その結果、リアル・オンライン共通のAD・コーディネーター実習のガイドラインを作成し、認定を希望される修了者にオンライン実習によって認定を得る可能性を提供することになりました。

注意事項:

オンラインAD実習は当分、組織・プロジェクトなどのプランニングミーティングのみになります。

(3)リアル実習:

緊急事態宣言が解除されましたので、リアル実習も基本的には再開できるようになりました。ただ多くの職場では、AD実習を安心して行えるまでには、さらに時間がかかるのではないかと推測されますので、認定を希望されている受講者にはオンラインによる実習の選択肢を提供いたします。

なおAD実習の申し込み手順と実習の流れは、基本的にはリアル実習もオンライン実習も同じになります。詳細については、資料「AD・コーディネーター実習のガイドライン」をご参照ください。

(4)コーディネーター実習(旧SV実習)と認定

相談役はAD実習について、自分の職場やクライアントの了解・合意をえてから、DPIを通して担当のコーディネーター実習者の指名を依頼することになります。

コーディネーター実習者は1年間のADファシリテーター認定コースの課程を修了し、さらにAD実習で3役を終えている受講者です。

これまでは、コーディネーター実習は、「後輩」受講生のAD実習のコーディネート(旧SV)を担当することになっていましたが、認定に導く実習機会を広げるために、同期のAD実習を担当することも可能といたします。

なお、コーディネーター実習者は、AD実習の3役を終え、認定を希望する受講生から募ることになりますが、ケースによっては安全性などの面から外部の人間を受け入れての実習に懸念を示すところもあり、その場合には相談役と検討した上、DPIで特定のコーディネーターを指名することもあります。

(5)実習報告書と特別DPIサポート

相談役およびコーディネーター実習者は、各々、実習報告書をDPIに提出します。DPIサポートが報告書に不備などが無いことを確認したのち、実習の履修が承認されることとなります。コーディネーター実習を3回履修した時点で、AD認定ファシリテーターとして認定されることとなります。

AD・コーディネーター実習者がDPIサポートによる特別な支援を要望される場合は、有料でDPIサポートの支援を手配します。ただし特定の講師の支援を希望される方は、ご自分で直接当講師にお問い合わせして頂くこととなります。その場合、ご指名の講師をDPIが承認する必要があります。

(6)AD・コーディネーター実習に関する資料

ガイドライン・心配シート・申込書・報告書など実習に関する資料については、ADファシリテーター認定コース受講者が各自でダウンロードできるようパスワードをかけて「クラウド」に保管していきます。こちらの方は年内に準備が完了する予定ですので、今しばらくお待ちくださるようお願い申し上げます。